

第4章 地域別まちづくり方針



第4章 地域別まちづくり方針

■地域別まちづくり方針について

【地域別まちづくり方針の考え方】

「地域別まちづくり方針」は、今後の地域単位のまちづくりの指針となるもので、全体構想で示したまちづくり方針を踏まえるとともに、地域の特性や住民の声を反映したよりきめの細かい「まちづくり方針」を示しています。

地域別まちづくり方針の作成にあたっては、各種アンケート調査結果や、「まちづくり住民会議」などの住民意見や提案などを積極的に盛り込み計画に反映しています。

【地域区分について】

地域区分については、現在の生活圏域を基本に、町村の合併経緯、地形や地域のまとまりなどを考慮して、右図に示すような3つの地域に区分しています。

- **三珠地域**
(大塚、上野、畑熊、中山、埜、高萩、古宿、三帳、下芦川)
- **市川地域**
(市川大門、印沢、高田、山保、下大鳥居、黒沢、八之尻)
- **六郷地域**
(岩間、落居、楠甫、宮原、葛籠沢、鴨狩津向、五八、岩下、寺所)

■地域区分図



【地域別まちづくり方針の構成】

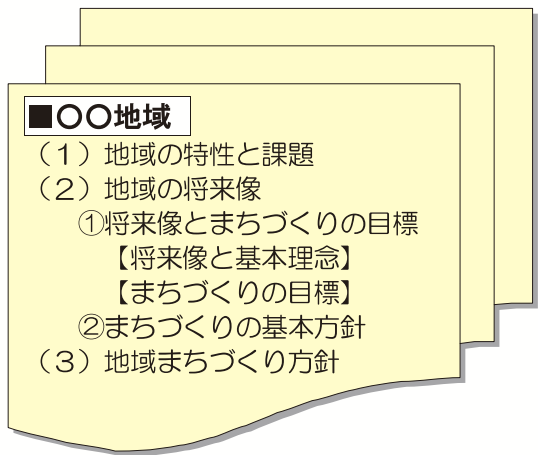
地域別まちづくり方針は、右に示すように、地域の特性と課題、将来像と目標、地域まちづくり方針の段階毎に、アンケート調査やまちづくり住民会議などの住民意向を反映させてまとめています。

地域まちづくり方針の施策内容は、全体構想の分野別まちづくり方針の中でも、その地域で取り組むべき主要なまちづくり施策を簡潔に示します。

「地域の将来像」(将来像、基本理念、まちづくりの目標、まちづくりの基本方針)のフレーズについては、地域住民が抱く地域の将来イメージやまちづくりに対する想いを共有し、本計画が住民にとって身近に親しみがもてるよう、「まちづくり住民会議」の提案を活用しています。

※各地域の末尾に、まちづくり住民会議から市川三郷町へ提案された「地域まちづくりプラン」を〈参考〉として提示しています。

■地域別まちづくり方針



1 三珠地域まちづくり方針

■位置

- 三珠地域は、本町の東に位置し、北側は中央市、東側は甲府市、南側は身延町に隣接しています。
- 芦川が地域中心を縦貫する自然骨格となっており、笛吹川の河川で形成された低地部扇状地の農地・集落地と、南部の御坂山系の山々を後背とした山地・丘陵地で構成されています。



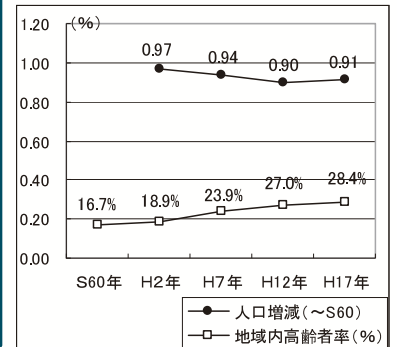
(1) 地域の特性と課題

① 地域の特性

- 本地域の人口・世帯数は平成20年4月現在4,217人、1,411世帯で、人口・世帯数とも近年は微増傾向にあります。高齢者率は平成17年28.4%と3地域の中で最も低くなっていますが、高齢化が進行しています。
- 地域の歴史は古く、大塚古墳など縄文・弥生時代の貴重な文化遺産が多数出土する曾根丘陵は古代文化の発祥の地といわれています。また、歌舞伎文化公園一帯は武田信玄の時代に信玄の弟の居城である別名上野城が置かれ、現在は歌舞伎の名門市川團十郎発祥の地として知られ、表門神社の約900年の歴史を持つ太々神楽の継承など数多くの歴史・文化資源がみられます。
- 地域は笛吹川扇状地に優良農地が広がる町内一の農業地帯ですが、近年耕作放棄地が増加しています。また、大塚工業団地の活用が望まれています。
- JR身延線の甲斐上野駅、芦川駅があり、笛吹川に並行して国道140号が地域北部を横断し、主要地方道甲府市川三郷線、丘陵部を通る金川曾根広域農道、山麓部を通る主要地方道笛吹市川三郷線などが地域の骨格を形成しています。
- 三珠庁舎、上野地区周辺が生活拠点を形成し、歌舞伎文化公園、みはらしの丘、みたまの湯、芦川溪谷、千波滝等の観光資源が分布しています。
- 丘陵地から桜峠を経て芦川溪谷から御坂山地に至る豊かな自然環境と、高台からの甲府盆地や南アルプスの眺望など、扇状地に広がる田園や農村風景と相まった美しい郷土景観を形成しています。



・みたまの湯から甲府盆地の夜景



(資料：国勢調査)

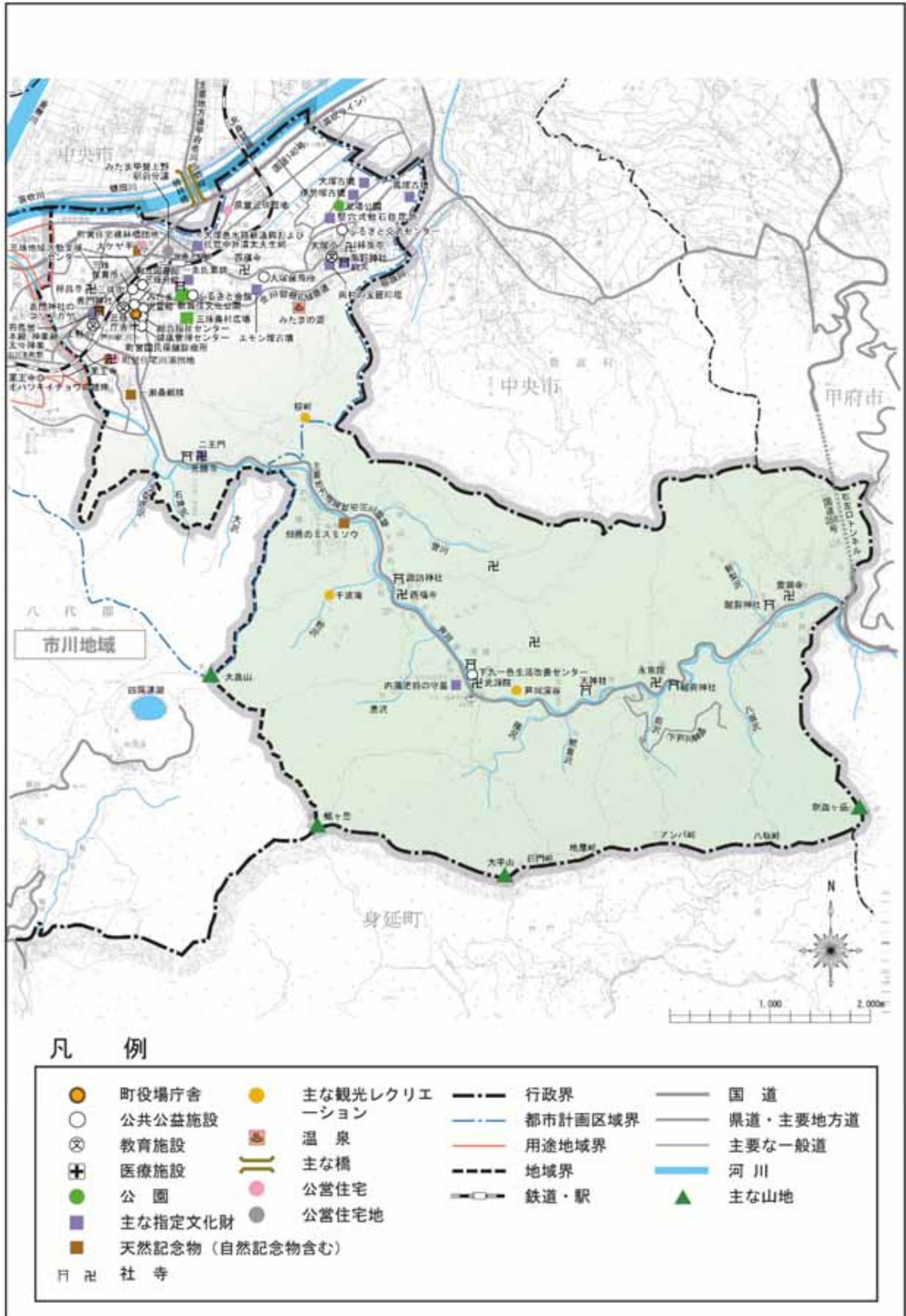
② 主要なまちづくりの課題

- 優良な農地を守る計画的な土地利用を進め、未利用地の活用など地域の活性化策に結びつけることが必要です。
- 地域の基幹産業である農業と、良好な自然環境やレクリエーション資源など多様な地域資源を結びつけ、地域が元気になる取り組みを進めることが必要です。
- 芦川や桜峠周辺の自然環境、田園・里山など郷土の風景、良好な眺望景観などを守り活かすことが大切です。
- 狭あい道路の拡幅など集落地内生活道路の改善と、体系的な道路・交通網の整備を進めることが必要です。
- 地域住民の暮らしを支える計画立てた住環境整備を進め、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを進めることが必要です。
- 地域の歴史・文化など地域資源を再認識し、地域のまとまりを大切に人の絆やコミュニティを育み、まちづくりに活かすことが大切です。

■主な地域住民意向(まちづくり住民会議)

- ・ 芦川や桜峠周辺の自然環境の保全と活用
- ・ 今の良好な景観を守り新たな景観を創る
- ・ 農地を守り計画的な土地利用を進める
- ・ 空地・未利用地の有効活用
- ・ 骨格的な道路網の整備
- ・ 生活道路の拡幅・改良
- ・ 身延線各駅の利便性の向上
- ・ リニア中央新幹線の駅誘致
- ・ 農業の活性化と地産地消の推進
- ・ 身近な商店街を地域で維持する
- ・ 資源を活用した地域活性化とPRの展開
- ・ 土地利用に即した計画的な基盤整備
- ・ 施設の集約化と連携強化
- ・ 下水道整備、街路灯・防犯灯整備
- ・ 地域医療の充実
- ・ 防災マップ作成と周知 など

■三珠地域の現況特性図



(2) 三珠地域の将来像

① 将来像とまちづくりの目標

■将来像と基本理念

将来像

豊かな自然と田園に囲まれ、 快適で元気に暮らせる明るいまち

基本理念

今ある資源を活かし、住み続けられるよう、みんなで知恵を出し合う

四季の移ろいに色づく芦川溪谷や潤いある清流、沢、滝、緑深い御坂山地の豊かな自然環境、丘陵地から扇状地に広がる田園農地の里山の美しい風景、山なみや甲府盆地の眺望景観、歌舞伎文化公園や古墳等の三珠の文化、地域が誇る大地の恵みの農産物など、これらの豊かな資源を地域で再認識し、地域の絆を育みながらこの地に住み続けられるよう、みんなで知恵とチカラを出し合いながら元気に暮らせる快適で明るいまちづくりを進めます。

■まちづくりの目標

- 農と田園を大切にすまちづくり
- 里山や芦川の豊かな自然を育むまちづくり
- 人と人の交流が盛んな活気あるまちづくり
- 眺望と夜景を誇るまちづくり
- 安心・安全で快適に暮らせるまちづくり



・まちづくり住民会議

② まちづくりの基本方針

1) 「農」を守る田園地域にふさわしい計画的な土地利用を進めます。

本町の誇るブランド農作物を産出する地域ですが、近年、耕作放棄地の増加や後継者不足等による営農環境の悪化が懸念されています。そのため、優良農地の維持保全とともに、里山・集落環境の維持向上、水辺や森林・自然環境の保全を図りながら、市街地の環境改善や定住促進のための生活基盤整備を進め、豊かな自然環境と調和した「農」を守る田園地域にふさわしい計画的な土地利用を進めます。

2) 農業と地域資源を活かし人と人の交流の盛んな活気あるまちづくりを進めます。

地域が元気になるために、豊かな環境と農地を大切に守り育み「農」の振興を図ることが求められています。そのため、基幹産業である農業の活性化を推進するとともに、芦川等の自然環境や多様な地域資源との連携を図り、観光農業や里山交流等を促進し、交流の盛んな活気あるまちづくりを進めます。

3) 豊かな自然環境を守り・育み、郷土の景観を誇るまちづくりを進めます。

紅葉の名所である芦川溪谷にホテルの舞う自然環境、田園農地の里山景観や眺望景観をはじめ、みたまの湯、歌舞伎文化公園などの文化遺産や地域資源を守り・育み、郷土を特徴づけ地域住民が誇る景観として積極的にまちづくりに活用するとともに、交流を促す観光レクリエーション利用を促進します。

4) 体系的な道路・交通網の整備と暮らしのみちづくりを進めます。

主要地方道甲府市川三郷線や笛吹市川三郷線など、地域の骨格を形成する主要な道路の機能強化や、広域交通や地域間の連絡強化、身延線各駅利便性の向上などを促進するとともに、集落内生活道路の改善を推進し、暮らしやすさを支える体系的な道路・交通網の形成と暮らしのみちづくりを進めます。

5) 地域の知恵と今あるものを活かす安心・安全で快適な住環境づくりを進めます。

今ある施設を十分に活かし、地域にとって何が必要なのかを考え、誰もが地域に住み続けられるよう知恵を出し合うことが大切です。道路や公園、既存施設の集約化や連携強化などを図り、防災や福祉・健康のまちづくりなど、身近な生活基盤の整備と地域の絆を大切にしたい安心・安全で快適なまちづくりを進めます。

(3) 地域まちづくり方針

1) 「農」を守る田園地域にふさわしい計画的な土地利用を進めます。

① 優良農地の保全、良好な農業集落地の形成と里山の保全・活用

- 笛吹川沿川の水田や東部の樹園地帯などの優良農地の維持・保全と農業基盤整備の促進
- 耕作放棄地の有効活用の促進（農地バンク、市民農園・観光農園、景観緑地への活用など）
- 中山間地の森林資源や市街地南側の斜面樹林、里山の維持・保全と活用（林業振興、放置山林などの維持管理とレクリエーション活用など）
- 市街地周辺や中山間地域の農業集落地環境の維持・改善、農地と宅地の混在など適切な土地利用誘導
- 中山間地域の過疎対策の推進（中山間地域総合整備事業の促進、空き家・耕作放棄地の有効活用など）

② 市街地の環境改善と計画的な土地利用の誘導

- 上野地区・大塚地区など木造密集地域における建替え困難地域の改善と地域特性に応じた計画的な市街地整備の促進
- 市街地周辺の計画的な生活基盤整備と適正な土地利用誘導
- 三珠庁舎周辺の宅地化促進、都市機能の集約化などコンパクトでまとまりある地域生活拠点の形成
- 上野地区周辺既存商店街の魅力づくり、店舗・生活サービス機能の充実
- 国道140号、(都)籠鼻川浦線、主要地方道甲府市川三郷線沿道については、住宅をはじめ、地域に身近な店舗・サービス施設、交流施設、観光農園などの立地する生活利便性の高い複合的な沿道ゾーンの形成と、一定のルールに基づく計画的な土地利用、沿道まちなみ誘導の促進
- 本町の産業拠点にふさわしい大塚工業団地の機能拡充と環境と共生した企業誘致の促進

③ 計画的な宅地化や定住の促進

- (都) 籠鼻川浦線周辺の圃場整備計画や治水安全対策と整合を図った基盤整備、住宅・生活サービス施設等の立地などの計画的な宅地化の検討、用途地域拡大の検討（洪水や土砂災害等の自然災害が想定される区域の宅地化に際しては、雨水調整池の設置等の流出抑制策や必要に応じ流末水路の改修など水害対策を図る）
- 定住促進策の推進（空き家の斡旋等による移住促進（空き家バンク制度）、耕作放棄地の活用、新規就農者支援による定住促進、子育て世代に配慮した定住促進策の検討、団塊世代の移住促進など）

2) 農業と地域資源を活かし人と人の交流の盛んな活気あるまちづくりを進めます。

① 実り豊かな農業振興・地域産業の活性化

- 本町における体験型の観光農業、グリーンツーリズムのモデル地域としての活性化の推進
- 農業の振興・活性化の推進（耕作放棄地の有効活用、農業基盤整備の促進、農山村地域との交流促進、農産物のブランドの確立と販売力の強化（甘々娘、大塚人参、新たなブランド農産物の創出など）、地産地消のシステムづくり、農業と異業種との連携、若者の参入を促す農業施策の推進、後継者・担い手の育成、鳥獣害対策の推進など）
- 観光農業との連携（観光農園・体験農園、農産物直売所の充実（みたまの湯、国道140号沿道等）、農産物のPR促進、グリーンツーリズムの推進など）

② まちの拠点等の活性化

- 上野地区周辺など地域生活拠点の魅力づくり
- 地域ぐるみで維持する身近な商店街の活性化の推進（商店街活力再生支援事業（街灯の修繕）など）

③ 地域資源を活用し結びつける元気なまちづくりの推進

- 観光レクリエーション拠点や観光資源の機能充実と魅力の向上（みはらしの丘みたまの湯、歌舞伎文化公園、芦川溪谷、桜峠、千波滝など）
- 水辺や豊かな自然資源の活用（笛吹川・芦川や千波滝等の親水空間、森林等のレクリエーション活用）

- 歴史文化資源を活用した活性化の推進（大塚古墳等の遺跡・史跡、文化財など）
- 観光基盤・観光ルートの整備と魅力づくり（国道140号、主要地方道甲府市川三郷線の広域観光ルート、金川曾根広域農道、主要地方道笛吹市川三郷線の観光レクリエーション軸、金川曾根広域農道～みたまの湯～桜峠を結ぶルートづくり（桜峠林道の活用）、芦川渓谷や蛾ヶ岳周辺のハイキングコース、ふるさとの散歩道など）
- 行事・祭の継承とイベントの充実（ぼたんの花まつり、表門神社の太々神楽、大塚人參収穫祭、新たなイベントづくりなど）
- 積極的な地域ぐるみの観光PRの展開

3) 豊かな自然環境を守り・育み、郷土の景観を誇るまちづくりを進めます。

① 山・川・里の豊かな自然環境の保全と活用

- 芦川渓谷周辺の豊かな自然環境の保全と活用（渓谷と森林資源の保全、芦川渓谷を巡るツアーなど）
- 桜峠を核とした自然環境の保全と活用（里山の再生、桜峠周辺の自然公園化、散策ルートづくりなど）
- 良好な水辺環境の保全とレクリエーション活用（笛吹川、芦川、千波滝、湯桶の釜など）
- 市街地後背の斜面樹林の風致の維持、貴重な動植物の生息環境の維持（畑熊のミスミソウ、ホタルなど）
- 自然環境に配慮した環境負荷の軽減と循環型社会をめざす環境にやさしいまちづくりの推進

② 優れた眺望と良好な景観資源を守り・活かし・創る景観まちづくりの推進

- 芦川沿いの自然景観や市街地後背の里山景観、扇状地から広がる田園・樹園景観の保全
- 眺望と夜景を誇る景観づくり（みたまの湯等の丘陵地、蛾ヶ岳などの山地からの富士山や甲府盆地、南アルプス等の眺望場所の保全、桜を愛でる場所づくり、眺望域の景観コントロールなど）
- 歴史・文化的景観の保全と活用（大塚古墳等の遺跡・史跡、歌舞伎文化公園など歴史的景観資源、芦川渓谷の入口となる光勝寺の仁王門等の歴史的建造物など）
- 新たな景観拠点づくりの推進（三珠庁舎周辺の桜の育成など地域生活拠点の魅力づくり、観光レクリエーション拠点、歴史文化拠点の活用、身近な景観スポットの創出など）
- 多様な景観を楽しむ景観ネットワークづくり（金川曾根広域農道における歌舞伎文化公園周辺のぼたん回廊づくり、ふるさとの散歩道、里山散策ルート、笛吹川サイクリングロード、芦川渓谷や蛾ヶ岳周辺のハイキングルートなど）
- 地域の特性にふさわしい適切な景観コントロールの推進
- 地域の歴史文化の再認識と協働による景観まちづくりの推進（お文珠さんの杜、神楽等の再認識）

③ 水と花と緑のまちづくりの推進

- 身近な水と緑の保全と拠点づくり（身近な公園・広場、社寺林・雑木林、沢、里山などの資源活用）
- ぼたんや桜の花園整備の促進と、協働による地域特性に応じた緑化の推進（公共施設や民有地、緑化推進地区の検討）

4) 体系的な道路・交通網の整備と暮らしのみちづくりを進めます。

① 地域の骨格を形成する主要な幹線道路網の強化と身近な交通環境の改善・整備

■骨格的な幹線道路網の整備・強化

- 増穂ICや新山梨環状道路南部区間のIC近接に向けたアクセス道路の整備促進
- 甲府圏域を結ぶ国道140号の機能強化、（都）籠鼻川浦線の延伸整備の推進
- 主要地方道甲府市川三郷線（（都）大門桃林線）など地域間をネットワークする道路網の強化
- 金川曾根広域農道の全線歩道整備、サイン整備の検討、道路機能の強化・魅力向上の促進
- 主要地方道笛吹市川三郷線の機能強化の促進（2車線化に向けた拡幅整備、危険箇所（落石など）の改善など）

■主要生活道路の改善・整備

- その他市街地や集落地域を結ぶ町道など主要生活道路の改善・整備

② 鉄道駅など公共交通の利便性の向上

- JR身延線の利便性の向上と地域の玄関口となる甲斐上野駅、芦川駅の整備・充実（駅舎、トイレ、駐車場・駐輪場の拡充・整備、無料駐車場の継続など）
- コミュニティバスの充実（運行継続・強化など）
- リニア中央新幹線の駅誘致の推進

③ 安全で快適な暮らしのみちづくり

■安全な歩行者のみちづくりの推進

- 通過交通の進入を抑制した歩行者優先のみちづくり
- 主要地方道甲府市川三郷線の歩道の改善・整備
- ふるさとの散歩道づくり、笛吹川サイクリングロードの魅力向上など安全・快適なみちづくりの推進

■交通安全対策の強化

- 交通量が多く歩道が未整備な幹線道路や通勤・通学ルートの歩道整備、路側帯確保の促進
- 交通事故の危険性の高い交差点の改善や通学路の交通安全対策（庁舎、小学校、保育園へのアクセスなど）、地域実情に即した交通規制の検討など

5) 地域の知恵と今あるものを活かす安心・安全で快適な住環境づくりを進めます。

① 計画だてた生活基盤整備と良好な住環境づくりの推進

- 身近な生活道路の改善・整備、通学路など交通安全対策の推進
- 市街地・集落地で不足している身近な公園・広場の整備・充実
- 生活利便施設の集約化と有効活用、関連施設の連携強化（公共公益施設、文化コミュニティ施設など）
- 老朽化した教育施設の改善・整備（上野小学校、大塚小学校など）
- 公共下水道の整備・下水道への接続促進、合併処理浄化槽の普及促進
- 町営住宅川浦団地、桃林橋団地の建替え検討、定住を促す良質な住まいづくりの推進（公営住宅の定住促進に向けた有効活用、空き家対策促進など）
- 森林や河川へのごみ不法投棄の防止
- 情報通信基盤の整備促進

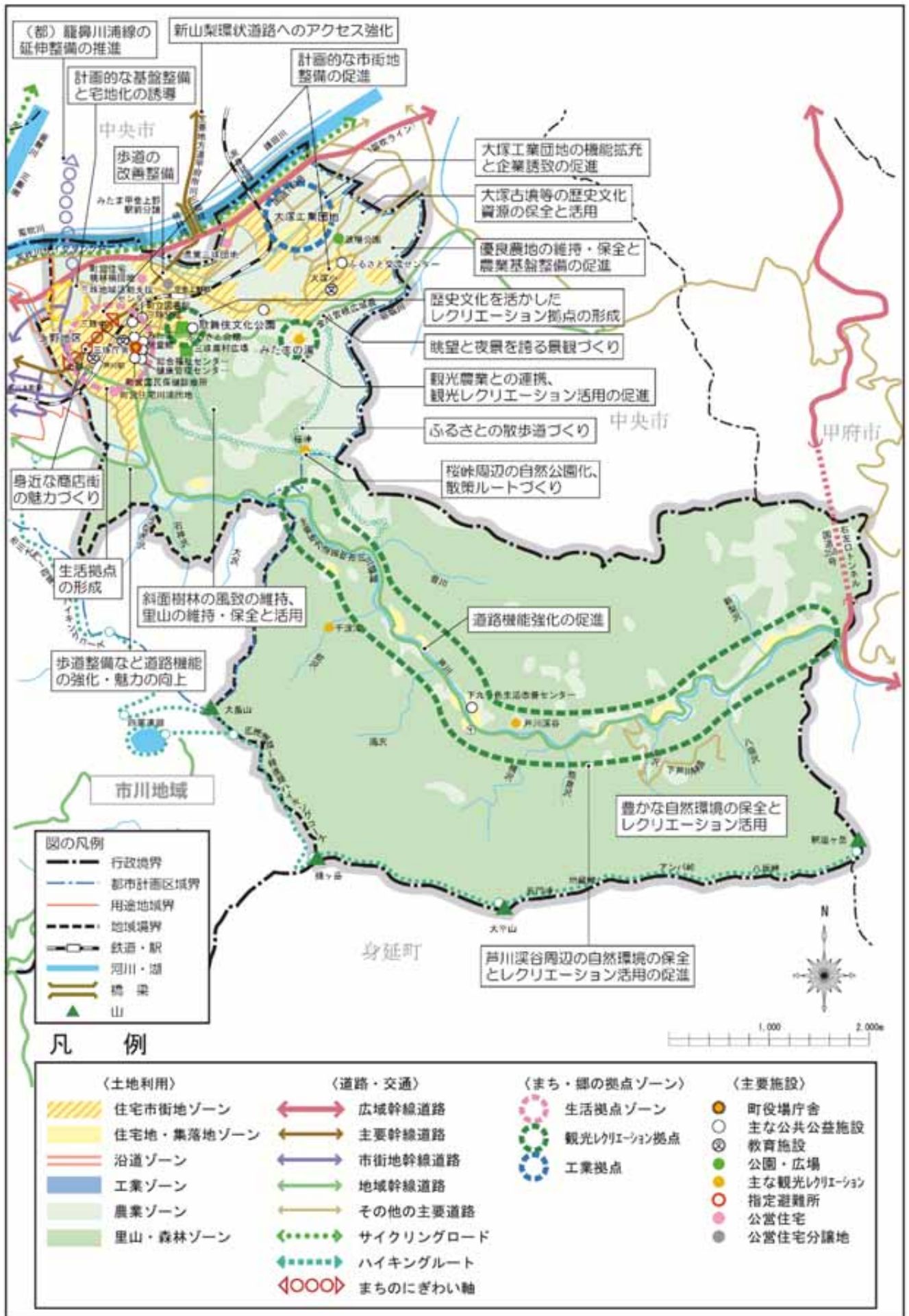
② 災害に強い安全なまちづくりの推進

- 笛吹川や芦川等の治水対策、中山間地域の土石流危険箇所、芦川沿いの急傾斜崩壊危険箇所などの治山対策の促進
- 防災まちづくりの推進
 - ・上野地区や大塚地区周辺の木造密集地域や消防活動困難区域等の安全性の向上（狭あい道路・行き止まり道路の改善、老朽住宅の建替え、建物の耐震化・不燃化促進、避難ルート確保など）
 - ・防災拠点や防災施設の充実・強化（三珠庁舎の防災拠点の機能強化、避難場所の機能充実など）
 - ・中山間地域における災害時迂回路の検討など
- 積極的な情報公開と地域防災体制の強化、意識啓発活動の促進（地域単位の防災マップ作成と周知など）

③ 地域の絆を大切にす、誰もが安心して暮らせる人にやさしいまちづくりの推進

- 公共施設等のバリアフリー化の推進（鉄道駅、三珠庁舎や既存公共施設の改善、道路・歩行者空間、公園・広場、歌舞伎文化公園や町立図書館三珠分館など文化交流施設等のバリアフリー化）
- 安心して暮らせる福祉と健康のまちづくりの推進
 - ・総合福祉センター等の福祉施設の機能充実
 - ・地域医療の充実（町立病院の医療環境の充実と地域医療の連携強化、町営国保診療所の機能充実）
 - ・高齢者・障害者等に配慮した福祉のまちづくり、地域ぐるみの子育て環境・子育て支援の充実
- 地域防犯体制の推進（街灯・防犯灯の整備など）
- 地域のまとまりを大切にすコミュニティの活性化（自治活動の持続、ふるさと意識の醸成など）

■地域まちづくり方針図—三珠地域



〈参考〉地域まちづくりプランの提案 (まちづくり住民会議提案より)

■まちづくりフィッシュボーン



地域まちづくりの提案!!

■地域別情報・提案マップ



◆情報・提案マップ
チームカンカンスメ (三珠地域)

2 市川地域まちづくり方針

■位置

- 市川地域は、本町の中央に位置し、北側は南アルプス市、西側は富士川町(旧増穂町、旧鵜沢町)、南側は身延町に隣接しています。
- 本町の中心市街地を形成しており、笛吹川と釜無川の合流部に形成された低地部扇状地の農地・住宅地と、道路や河川に沿った集落地、南側の県立四尾連湖自然公園周辺の森林・山地で構成されています。



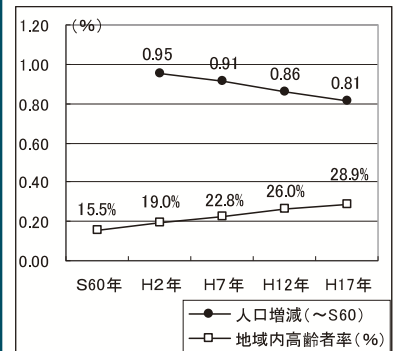
(1) 地域の特性と課題

① 地域の特性

- 本地域の人口・世帯数は平成20年4月現在10,420人、3,770世帯で、人口は減少傾向、世帯数は横這い傾向にあります。高齢者率は平成17年28.9%であり、高齢化が進行しています。
- 地域の歴史は古く、地場産業である市川和紙の起源は甲斐源氏の時代に遡り、日本有数の産地として名高い花火は信玄時代の烽火が始まりであったといわれています。また、富士川舟運から物流の要衝として市川陣屋が置かれるなど伝統産業が色濃く残り、神明の花火や祇園祭り等の伝統行事・祭りが受け継がれるなど数多くの歴史・文化資源がみられます。
- 中心市街地は、木造建物の密集と老朽化、空き家や低未利用地がみられ、建て替え困難敷地が多く分布する一方、高田地区周辺では宅地化が進行しています。中心商店街は停滞傾向にあり、空洞化が進行しています。
- JR身延線の市川本町駅、市川大門駅、鵜沢口駅があり、国道140号、主要地方道甲府市川三郷線、市川三郷富士川線が地域を横断し、県道四尾連湖公園線が地域を縦断するなど幹線道路の骨格を形成しています。また地域西側は中部横断自動車道増穂ICに近接し、交通渋滞緩和のため大門バイパスが整備され、現在、黒沢バイパスの整備が進められています。
- 市川大門庁舎(本庁舎)や町民会館、県立市川高校周辺の行政文化拠点、地域の生活拠点を形成する高田公民館周辺、大同出張所周辺、また、大門碑林公園、甲斐源氏旧跡、市川陣屋跡、県立四尾連湖自然公園周辺、花火資料館等の観光資源が分布しています。
- 山上の天然湖として富士八湖に数えられる四尾連湖周辺の豊かな自然環境や、高台からの眺望景観、歴史的建造物や暮らしぶりに表れる「ひや」と水路のまちなみなどが、落ち着いたたたずまいや歴史・文化の香りを醸し出す風情ある地域景観をみせています。



・四尾連湖



(資料：国勢調査)

② 主要なまちづくりの課題

- 和紙や花火などの伝統産業や中心商店街の再生、資源を活用した観光振興、地域に住み続ける定住策の推進など、地域が元気な活力を高めるまちづくりが必要です。
- 密集地の建替え困難対策と併せた狭あい道路の改善、中心市街地の骨格を形成する道路網の改善・整備、歩いて楽しいみちづくりを進めることが必要です。
- 四尾連湖周辺の自然資源の保全と活用、眺望景観や歴史文化的な特徴あるまちなみを育成することが大切です。
- 農地の保全と併せ、建物密集地域の改善や空き地・空き家対策、無秩序な市街地拡大への対応など、地域特性に応じた適切な土地利用の誘導を図ることが必要です。
- 中心市街地の生活基盤整備の推進と身近な住環境の改善、防災性の向上などに努めることが必要です。
- 助け合い支え合う昔ながらの「ひや」を介した絆、安心なつながりを大切に、地域住民のまちづくりへの想いや活動などを十分に活かしていくことが大切です。

■主な地域住民意向(まちづくり住民会議)

- ・中心市街地建て替え困難地域の解消と計画的な土地利用の推進
- ・農地の保全と空き家対策、良質な住宅地整備
- ・商店街の活性化推進、一方通行の見直し改善
- ・歩いて楽しいみちづくり
- ・中心市街地道路網の見直し改善
- ・黒沢バイパスの早期完成
- ・公共交通の充実、新山梨環状道路アクセス整備
- ・四尾連湖の観光化と魅力的な観光ルートづくり
- ・地域産業の活性化、定住・人口増加策の推進
- ・豊かな自然の保全、「水の都」の保全と創造
- ・緑豊かなまち、河川・水辺を活かしたまち
- ・眺望景観の活用、色彩計画・景観コントロール
- ・歴史・文化の継承、営みが育んだ風景の活用
- ・公園の整備、既存の公共施設の充実・有効利用
- ・自然災害、治水対策の推進、耐震補強補助充実
- ・山間集落地の災害時孤立対策の強化
- ・高齢者福祉、子育て環境の充実
- ・町立病院の医療体制の強化 など

■市川地域の現況特性図



(2) 市川地域の将来像

① 将来像とまちづくりの目標

■将来像と基本理念

将来像

**歴史・文化を誇り、地域の絆と思いやりを育む
おだやかに住み続けられるまち**

基本理念

みんながみんなを知っている！地域協力を惜しまない、この安心なつながりを大切に！

舟運の歴史や古より培われた花火と和紙の伝統技術、市川地域は郷土の誇る資源や風情あるまちなみや文化がそこかしこに息づいています。また、創立以来96年におよび多くの人材を輩出してきた甲斐源氏の紋章を校章とする由緒ある県立市川高校をはじめ、日々の営みの中でひやを介した人と人の顔がみえる地域の絆など、人を活かし技を誇る伝統を継承し育んできました。この潜在的な豊かさと魅力を秘めた和みある風景を活かし、誰もがおだやかに住み続けられるよう思いやりを結びあい、地域の誇りを育み継承するまちづくりを進めます。

■まちづくりの目標

- 生活基盤の整った快適な利便性の高いまちづくり
- 地域産業を大切に守り育むまちづくり
- 誰もが安心・安全な暮らしやすいまちづくり



・まちづくり住民会議

② まちづくりの基本方針

1) 地場産業や商店街など中心市街地の活性化と元気で明るいまちづくりを進めます。

中心市街地の再生と活性化は本町の重要な課題のひとつです。中央通りなどの中心商店街や本町の成り立ちを支えてきた地場産業の再生を図るとともに、魅力ある資源を活用した観光などの基盤整備、郷土の景観づくりを推進し、まちの顔にふさわしい、住む人が元気になり訪れる人が楽しくなる、生き活きと明るい元気なまちづくりを進めます。

2) 中心市街地の道路交通網の再編整備と歩いて楽しいみちづくりを進めます。

中心市街地にふさわしい道路交通網の再編を図るため、骨格をなす幹線道路網や広域交通・地域間交通ネットワークの機能強化、都市計画道路の再編・整備、本町の玄関口となる鉄道駅など交通結節機能強化を促進するとともに、防災性を考慮した狭あい道路の改善など生活道路の整備を推進します。また、コミュニティを育む安心・快適な歩いて楽しい歩行者のみちづくりを進めます。

3) 「水の都」の歴史文化や郷土の風景を継承し、風情を楽しむまちづくりを進めます。

笛吹川の舟運の歴史や沢や河川、まちなかを巡る水路、山上の天然湖四尾連湖など、豊かな潤いある水環境が、和紙等の伝統産業や郷土の美しい風景を育んできました。この「水の都」のなりわいや記憶を継承し、交流を育むレクリエーション活用や住む人が身近に歴史・文化を感じる郷土の景観づくりに活かし、地域を巡りたたくことで魅力や心地よさを五感で感じる、風情を楽しむまちづくりを進めます。

4) 地域らしさの保全と再生に向けた計画的な土地利用の誘導・形成を図ります。

まちなか居住の促進や中心市街地の再生に向け、密集する住宅市街地の環境改善と適切な土地利用誘導を進めるとともに、国道140号等の幹線道路沿道の計画的な土地利用誘導、優良農地の保全や集落環境の維持向上、定住促進に向けた宅地化誘導や仕組みづくりなどを検討し、地域らしさを損なうことのないよう、景観や環境等に配慮した中心市街地にふさわしい土地利用の誘導・形成を図ります。

5) 思いやりのある誰もが安心・快適に暮らしやすい住環境づくりを進めます。

これまで培われてきた文化や暮らしの豊かさが、身近なところで誰もが享受できるまちを目指し、生活道路の改善や高齢者や子ども達の憩いの場づくり、既存の公共施設の充実など生活基盤整備を推進するとともに、自助共助の精神を土台とした安全・安心なまちづくりなど、思いやりのある誰もが安心・快適に暮らしやすい住環境づくりを進めます。

(3) 地域まちづくり方針

1) 地場産業や商店街など中心市街地の活性化と元気で明るいまちづくりを進めます。

① 中心市街地の再生と活性化の推進

■市川地区中央部まちづくりの推進

- 街なみ環境整備事業、市川地区中央部まちづくり推進計画の推進
- 都市計画道路の整備促進、生活道路の拡幅・整備（狭あい道路拡幅整備、すみきり改善など）
- 本町の顔となる中心市街地の景観まちづくりの推進（歴史文化、伝統産業、水路・「ひや」の活用など）
- 回遊性のある歩行者空間づくり（ポケットパーク・サイン整備、小広場、せせらぎ水路、散歩道など）
- 市川まちづくり拠点の活動充実（施設活用の充実、まちづくり情報・イベント充実、人材育成など）

■行政文化拠点のまちづくりの推進

- 市川大門庁舎（本庁舎）、町民会館、県立市川高校周辺の行政文化機能の強化、拠点にふさわしい景観形成、文化コミュニティ機能の充実、町民交流・賑わいの創出等の魅力の向上

■地域生活拠点等の活性化と魅力づくり

- JR 市川大門駅周辺の整備推進と魅力づくり
- JR 鯉沢口駅、黒沢地区周辺の魅力づくり（黒沢バイパス整備に併せた活性化の推進など）

② 活き活きと元気な商店街の活性化促進

- 商店街活性化の推進（商店街一店逸品創出支援事業、商店街活力再生支援事業（街灯の修繕）など）
- 中央通り商店街の再生（空き店舗・空き家の有効活用（町屋活用の店舗再生、空き家バンク等）、伝統産業と連携した活性化の推進、駐車場・街灯整備など）
- 歩いて楽しい商店街の創出（コミュニティ道路化の検討、休憩スポット整備、案内標示、まちかどギャラリー、散策マップ作成など）

③ 郷土の特色ある風景・観光資源を活用した活気あるまちづくりの推進

- 観光レクリエーション拠点や観光資源の機能充実と魅力の向上（大門碑林公園の魅力向上、四尾連湖周辺の観光基盤整備と「ふるさと八景」整備事業（サイン整備）の推進、花火資料館の充実など）
- 水路や小径を活かしたまちなみ景観づくり（「ひや」や小水路、宿場の歴史文化的建造物の活用など）
- 水辺や豊かな自然資源の活用（笛吹川や富士川の舟運の歴史、水路など水辺や辻空間を活用したせせらぎ散歩道づくり、県立四尾連湖自然公園の観光活用と魅力づくり、豊かな森林資源のレクリエーション活用（森林セラピーなど））
- 観光基盤・観光ルートの整備と魅力づくり（国道140号、主要地方道甲府市川三郷線等の広域観光ルート、金川曾根広域農道、県道四尾連湖公園線等の観光レクリエーション軸、四尾連湖や蛾ヶ岳ハイキングコース、ふるさとの散歩道など）
- 身延線の恩恵を受ける活性化策の促進（観光バスとの連携、良好な環境と交通至便の住み良さのPR）
- 行事・祭の継承とイベントの充実（神明の花火大会、祇園祭、御幸祭、百祭りなど）
- 観光PR・情報発信の仕組みづくり

④ 地場産業が元気な産業振興による活性化の推進

■伝統的な地場産業の活性化推進

- 和紙、花火等の伝統産業の育成と活性化（3地域の地場産業の交流と連携強化、花火資料館等の施設の有効利用、伝統産業体験学習の推進など）

■農業など地域産業が元気な活性化の推進

- 農業の振興・活性化の推進（耕作放棄地の有効活用（市民農園等）、農業基盤整備の促進、農山村地域との交流促進、農産物のブランド確立と販売力の強化、農業と異業種との連携、後継者・担い手の育成（JA西八代担い手育成事業の普及）、鳥獣害対策の推進など）
- 観光農業との連携（グリーンツーリズムの推進、観光農園・体験農園、農産物直売所の充実など）
- 産業基盤の整備と地元で就労の場の確保（国道140号沿道など既存工業集積地の機能充実）

⑤ 地域まちづくり活動の支援・充実、協働によるまちづくりの推進

- 協働のまちづくりの推進（市川地区中央部まちづくり協定の促進、まちづくり条例の検討など）
- 住民のまちづくり活動への支援・充実（市川地区中央部まちづくり懇談会など）

2) 中心市街地の道路交通網の再編整備と歩いて楽しいみちづくりを進めます。

① 中心市街地の道路交通網の再編と地域の骨格を形成する主要な幹線道路網の強化

■中心市街地にふさわしい道路網の再編・整備促進

- (都) 役場前線の整備検討(商店街に関わる未整備区間(役場前線南進道路)のまちなみやにぎわい、歩行者等に配慮した暮らしのみちづくり、住民と協働による都市計画見直しを視野に入れた道路のあり方の再検討)
- その他の都市計画道路の整備推進(高等学校前線、橋場高田線、市川本通り線等)と地域実情に即した都市計画道路網の見直し・再編の検討(必要性・緊急性の高い路線からの段階的な整備促進など)
- 北線通りの歩道整備、中央通りの修景整備など中心市街地3線の整備・機能強化と、3線を結ぶ生活道路網の再編

■骨格的な幹線道路網の整備・強化

- 中部横断自動車道の建設促進と増穂IC、(仮称)六郷ICへのアクセス強化
- 広域・地域間連絡を強化する黒沢バイパスの整備促進
- 広域幹線道路である国道140号の機能強化
- 主要地方道甲府市川三郷線、市川三郷富士川線など地域間をネットワークする道路網の強化
- 県道四尾連湖公園線の機能強化の促進(道路改良、サイン整備の検討など)
- 金川曾根広域農道の機能強化の促進(全線歩道整備、サイン整備の検討など)

■主要生活道路の改善・整備

- その他市街地や集落地域を結ぶ町道など主要生活道路の改善・整備

② 公共交通充実と利便性の向上

- 本町の玄関口となる市川大門駅の整備推進と交通拠点機能の強化(駅前広場、駐車場・駐輪場整備など)
- 市川本町駅・鯉沢口駅の整備・充実、JR身延線の利便性の向上(無人駅の改善、運行本数の増加、サイクルトレイン、パークアンドライドの促進、レンタルサイクルの整備、他市町と連携した観光利用の促進など)
- コミュニティバスの充実(運行継続・強化など)、観光地循環バスの検討
- リニア中央新幹線の駅誘致の推進

③ 安全で快適な歩いて楽しいみちづくり

■歩いて楽しいみちづくりの推進

- 既存商店街のコミュニティ道路化の検討、通過交通の進入を抑制した歩行者優先のみちづくり
- 回遊性のあるふるさとの散歩道づくり、笛吹川サイクリングロードの延伸整備・魅力の向上

■交通安全対策の強化

- 交通量が多く歩道が未整備な幹線道路や通勤・通学ルートの歩道整備、路側帯の確保の促進
- 主要地方道市川三郷富士川線黒沢交差点など交通事故の危険性の高い交差点や大雨時の通行止め箇所改善、通学路の交通安全対策、地域実情に即した交通規制の検討など

3) 「水の都」の歴史文化や郷土の風景を継承し、風情を楽しむまちづくりを進めます。

① 「水の都」の豊かな自然環境の保全と活用

- 自然公園区域特別地域・自然公園四尾連湖の保全
- 山地・森林資源の保全と維持管理の推進、市街地後背の斜面樹林の風致や森林の維持
- 「水の都」の保全と創造(河川や湖、沢、水路の良好な水辺環境の保全とレクリエーション活用)
- 貴重な動植物の生息環境の維持(四尾連湖のリョウメンヒノキ等の天然記念物、ホテルなど)
- 自然環境に配慮した環境負荷の軽減と循環型社会をめざす環境にやさしいまちづくりの推進

② 地域の財産である歴史文化と眺望景観を継承する、風情を楽しむまちづくりの推進

- 歴史・文化的景観の保全とまちづくりへの活用(甲斐源氏旧跡や平塩の岡周辺の歴史文化的景観、舟運・旧街道・市川陣屋跡等の地域の中心地としての繁栄を伝える風情あるまちなみ)

- 歴史景観資源の顕在化と活用（大門碑林公園の原碑・書の文化、和紙・花火等の伝統技術、宝寿院の夢想国師作の庭園、子安神社の神楽等の伝統芸能、その他遺跡・史跡、道祖神・地藏など）
- 繁栄を伝える建築物等の近代化遺産の保存と活用（市川教会、土蔵造りの町屋、洋館風建築物など）
- 「ひや」と水を活かすまちなみ景観づくり（河川や水路等の水辺空間・辻を活かした小径づくりなど）
- 蛾ヶ岳からの富士山の眺望、丘陵地からの甲府盆地や南アルプス等の眺望景観の保全と活用（ビューポイント・眺望場所の保全、眺望域の景観コントロールなど）
- ふるさとの顔づくりの推進（市川地区中央部、行政文化拠点、地域生活拠点、観光レクリエーション拠点、歴史文化拠点、伝統産業の場などまちの成り立ちや営みが育んだ風景・身近な景観スポットの創出など）
- 多様な資源を楽しむ景観ネットワークづくり（四尾連湖～蛾ヶ岳のハイキングコース、ふるさとの散歩道、笛吹川サイクリングロードなど）
- 地域特性にふさわしい適切な景観コントロールの推進（建築物の意匠、デザインルール、色彩計画など）
- 先導的な景観まちづくりの取り組みの検討（「市川三郷町景観計画」の策定とあわせた「サイン整備計画」の推進、「市川地区中央部の住まいのデザインノート」の活用促進）
- 協働による景観まちづくりの推進（市川地区中央部まちづくり協定の促進）

③ 花と水と緑豊かなまちづくりの推進

- 身近な水と緑の保全と拠点づくり（市川公園など都市公園の機能拡充、観光レクリエーション拠点の魅力向上、大樹・古木の保全、社寺林・雑木林、小水路等の身近な資源活用、維持管理の推進など）
- まちなか緑化の推進・仕組みづくりの検討（建替え時の植樹義務、生誕時の植樹助成など）
- 協働による花いっぱいのもちづくりの推進（ボランティア育成など森の再生と仕組みづくりなど）

4) 地域らしさの保全と再生に向けた計画的な土地利用の誘導・形成を図ります。

① 中心市街地の形成とまちなか居住の促進

- 本町の顔にふさわしい基盤整備、都市機能の集約化による魅力ある中心市街地の形成
- 中心市街地の街路・住環境整備と併せた計画的なまちなか居住の促進（良質な住宅地の供給（公的・民間住宅）、低未利用地・空き家の有効活用、建替え・共同化、低廉で魅力ある住まいづくりなど）

② 良好な環境と共生した計画的な市街地整備の促進と適正な土地利用の誘導

- 生活基盤整備の促進と計画的な宅地化誘導によるコンパクトで良好な住宅市街地の形成
- 市川地区中央部や高田地区周辺の防災・居住環境向上に向けた老朽木造密集住宅地の改善（密集地域の狭あい道路の改善と残地処分手法の検討、建物の不燃化・建替えの促進、空き地・空き家対策の促進と有効活用、公園・広場等オープンスペースの確保など）
- 建替え困難地域の解消（連担建築物設計制度の促進、接道不良対策の充実、建替えのルールづくりなど）
- 黒沢地区、下大鳥居地区の生活サービス機能の充実等による地域生活拠点の形成
- 国道140号、（都）役場前線、主要地方道甲府市川三郷線、主要地方道市川三郷富士川線の一部沿道については、住宅をはじめ、地域に身近な店舗・サービス施設、交流施設、観光農園などの立地する生活利便性の高い複合的な沿道ゾーンの形成と、一定のルールに基づく計画的な土地利用、沿道まちなみ誘導の促進
- 地域環境に配慮した国道140号周辺既存工業集積地の良好な工業地の形成と生産環境の維持・向上

③ 優良農地の保全、良好な農業集落地の形成と里山の保全・活用

- 笛吹川扇状地の水田や高田地区、下大鳥居地区、黒沢地区などの優良農地の保全、農業基盤整備の促進
- 耕作放棄地の有効活用の促進（農地バンク、市民農園・観光農園、景観緑地への活用など）
- 中山間地の森林資源や市街地南側の斜面樹林、里山の維持・保全と活用（森林の維持管理、林業振興、レクリエーション活用など）
- 市街地周辺や中山間地域の農業集落地環境の維持・改善、農地と宅地の混在など適切な土地利用誘導
- 中山間地域の過疎対策の推進（中山間地域総合整備事業の促進、空き家・耕作放棄地の有効活用など）

④ 定住促進と地域に住み続ける仕組みづくり

- 町分譲地への居住促進、一部宅地化が進行している高田地区、下大鳥居地区や黒沢地区などの計画的な宅地化誘導
- 定住促進策の推進（空き家の斡旋等による移住促進（空き家バンク制度）、耕作放棄地の斡旋、新規就農者支援、地域コミュニティを支える若者・子育て世代の定住促進、団塊世代の移住促進、就労のまち・住むまちの均衡を図った定住策の促進など）

5) 思いやりのある誰もが安心・快適に暮らしやすい住環境づくりを進めます。**① 生活基盤の整備・充実と快適・利便性の高い住環境づくり**

- 身近な生活道路の改善・整備、交通安全対策の推進
- 市街地・集落地で不足している緑の多い身近な公園・広場の整備・充実
- 生活利便施設の整備・充実と有効活用（生涯学習センターの整備検討、公共施設の有効活用と利便性の向上（出張所機能等）、図書館など文化コミュニティ施設の充実など）
- 公共下水道の整備・合併処理浄化槽の普及、河川や水路暗渠化・蓋がけの改善、水路の浄化・水質の保全
- 定住を促す良質な住まいづくりの推進（町営住宅富士見団地など公営住宅の充実と有効活用、まちなか居住の促進、空き家対策促進など）
- 森林や河川へのごみ不法投棄の防止
- 情報通信基盤の整備促進

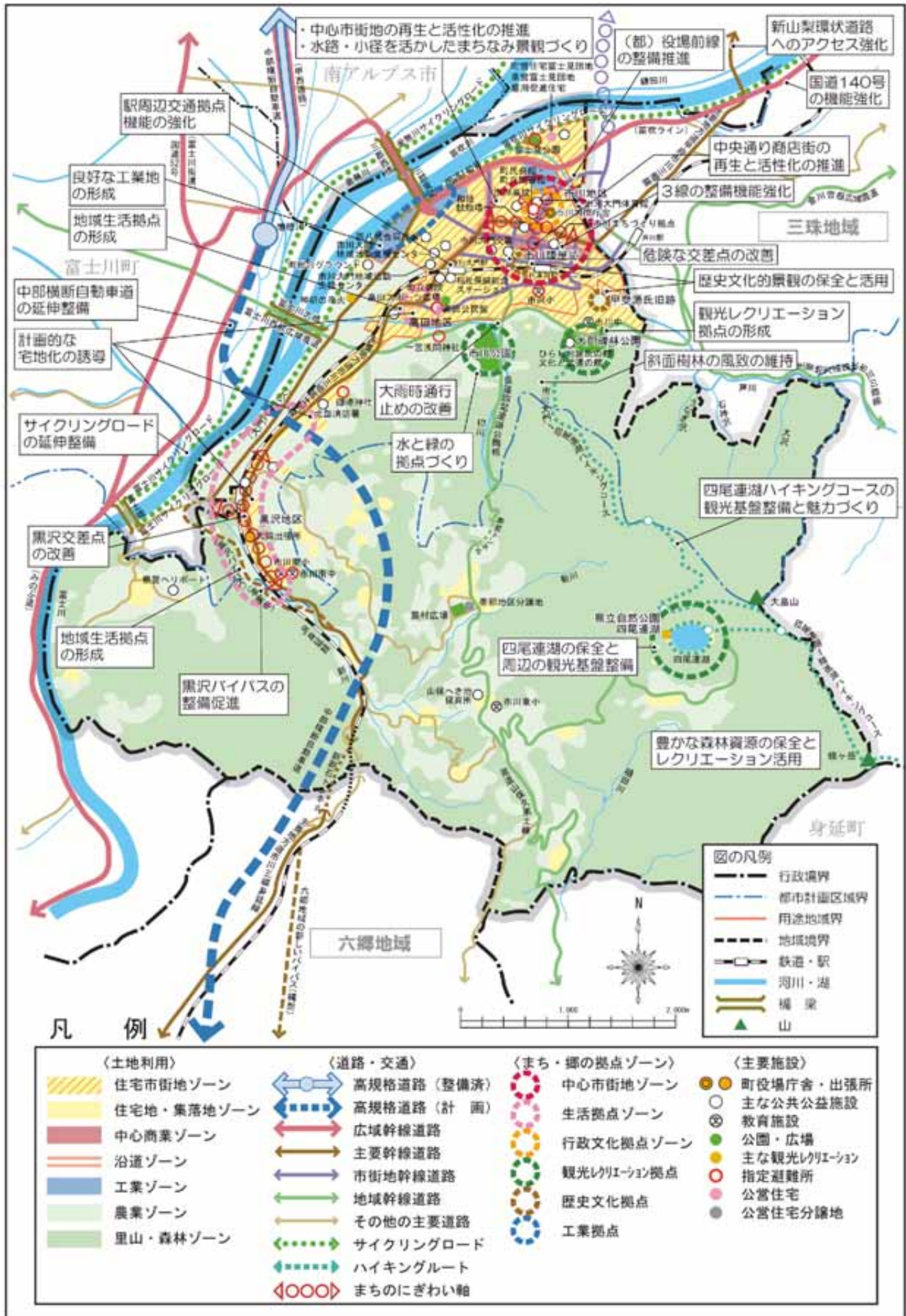
② 災害に強く頼りになる安心・安全なまちづくりの推進

- 笛吹川・釜無川の2川合流部周辺や印川等の治水対策の促進、高田排水機場の改修整備、高田地区、下大鳥居地区などの低水地区における治水及び内水排除の総合的な計画の検討
- 中山間地域の土石流危険箇所、急傾斜崩壊危険箇所など土砂災害対策の促進
- 防災まちづくりの推進
 - ・市川地区中央部、高田地区周辺の木造密集地域や消防活動困難区域等の安全性の向上（狭あい道路・行き止まり道路の改善、老朽住宅の建替え、建物の耐震化・不燃化促進、避難ルート確保など）
 - ・防災拠点や防災施設の充実・強化（市川大門庁舎（本庁舎）、大同出張所の防災拠点機能強化、市川大門交番・大同駐在所、峡南広域行政組合北部消防署、防災ヘリポートの活用、大規模避難場所整備の検討、避難場所の機能充実など）
 - ・中山間地域における災害時孤立対策の強化・迂回路の検討など
- 積極的な情報公開と地域防災体制の強化、意識啓発活動の促進（地域単位の防災マップ作成と周知など）

③ 大人も子ども達も元気な思いやりのある、人にやさしいまちづくりの推進

- 公共施設等のバリアフリー化の推進（鉄道駅、市川大門庁舎（本庁舎）や大同出張所等の既存公共施設の改善、道路・歩行者空間、公園・広場、大門碑林公園や町民会館、花火資料館など文化交流施設等のバリアフリー化、誰でもトイレの整備充実）
- 安心して暮らせる福祉と健康のまちづくりの推進
 - ・福祉保健総合ステーション等の福祉施設の機能充実
 - ・地域医療の充実（町立病院の医療環境の充実と地域医療の連携強化（産婦人科・小児科の充実など））
 - ・高齢者・障害者等に配慮したまちづくり、子育て環境・子育て支援の充実
 - ・児童館・保健センターの整備推進、市川地区保育所の統合整備など
- 地域防犯体制の推進（街灯・防犯灯の整備、「地域の目」による防犯体制の充実など）
- 絆を大切にされた地域コミュニティの維持・育成（学校を中心とした地域活動の活性化、公民館活動の活性化・支援充実、福祉ボランティアの育成、子ども達の交流の機会・場づくりなど）

■地域まちづくり方針図—市川地域



3 六郷地域まちづくり方針

■位置

- 六郷地域は、本町の南西に位置し、北西側は富士川町、南側から東側は身延町に隣接しています。
- 富士川や山田川が地域を縦貫する自然骨格となっており、富士川の低地部に向かう西傾斜の地形に集落地が開かれ、また、道路や河川に沿って農地・里山集落地が点在しています。



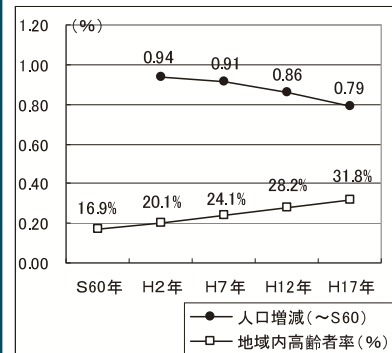
(1) 地域の特性と課題

① 地域の特性

- 本地域の人口・世帯数は平成20年4月現在3,768人、1,375世帯で、人口・世帯数とも減少傾向にあります。高齢者率は平成17年31.8%と3地域の中で最も高く高齢化が進行し、集落の維持が懸念されているところであります。
- 江戸時代には、富士川舟運の物流の要衝地として岩間陣屋が置かれ、この時代に岩間地域への灌漑のための岩間堰の開削や岩間足袋が起業されています。また、水晶の産出から文久年間に水晶印の篆刻が始まり、六郷地域は明治時代から印章業を基幹産業として発展し、日本一の印章の生産地として知られるなど古くからの伝統産業が培われてきています。
- 市街地は岩間地区に形成され、低地部の水田を中心に中山間地域に果樹や畑地が分布しています。平成28年度開通予定の中部横断自動車道(仮称)六郷IC周辺の基盤整備などの土地利用が検討されています。
- JR身延線落居駅、甲斐岩間駅があり、主要地方道市川三郷身延線が地域の骨格を形成しています。今後、中部横断自動車道の延伸、(仮称)六郷IC整備、また、交通アクセス向上に向け新たなバイパス整備構想があります。
- 六郷庁舎、岩間地区周辺が生活拠点を形成し、印章資料館、六郷の里つむぎの湯、寺所の千本桜等の観光資源が分布しています。
- 中山間地は、ホテルやカタクリ等の生態系や寺所の桜など、豊かな自然環境と良好な眺望景観、のどかな里山の風景がみられ、市街地周辺は昔ながらのまちなみが残るなど、風情と趣のある郷土景観を形成しています。



・岩間地区のまちなみ



(資料：国勢調査)

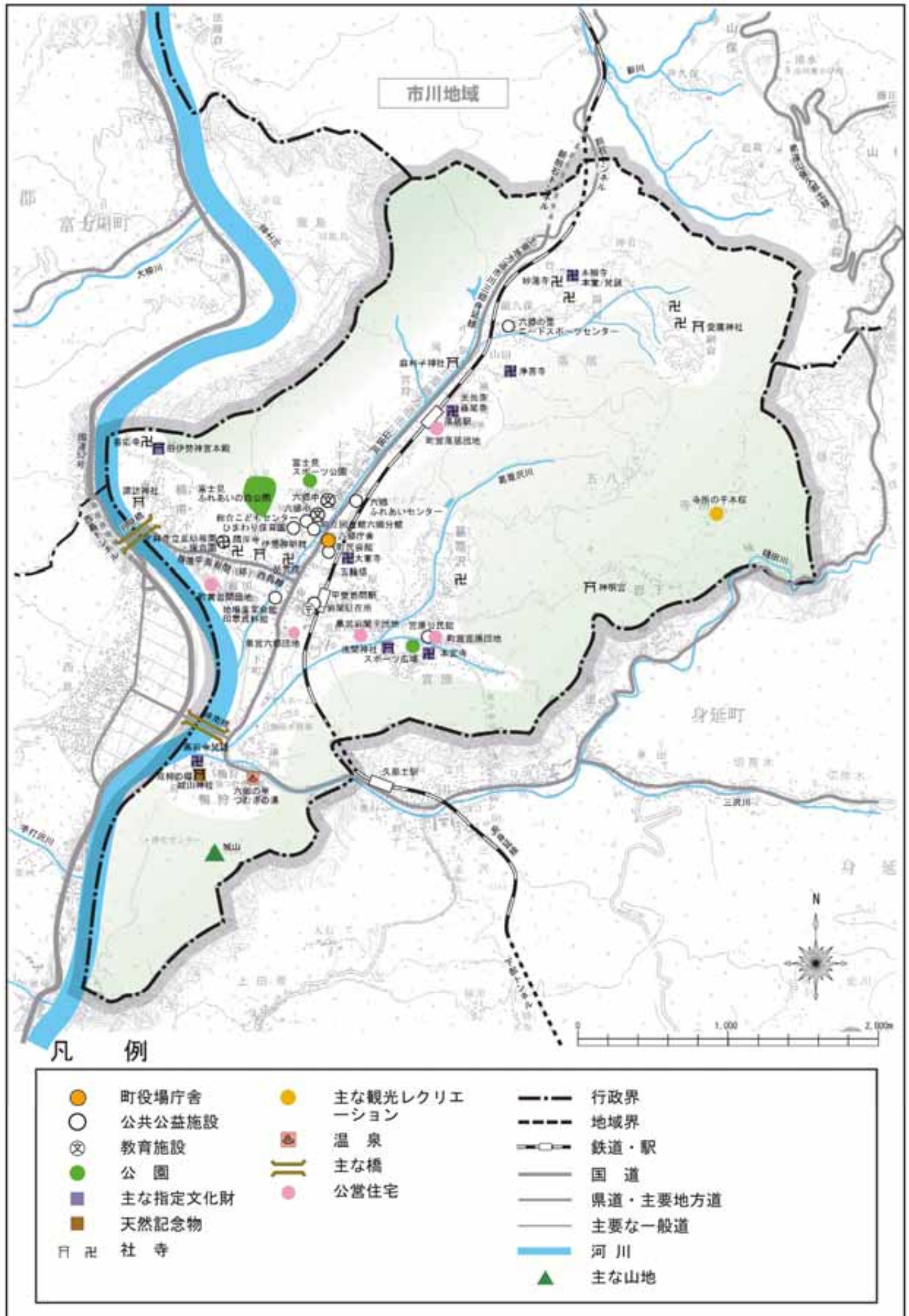
② 主要なまちづくりの課題

- 人口減少への対応、定住促進、地域産業の活性化など、地域資源を活かした活性化策を進めることが必要です。
- 中部横断自動車道(仮称)六郷ICの建設促進と交通ネットワークの強化、鉄道やバス等の公共交通利便性の向上、歩行者を重視したまちづくりを進めることが必要です。
- 豊かな自然環境を守りながら、環境資源や歴史文化資源をまちづくりに活用していくことが大切です。
- 農地の保全とともに、耕作放棄地や空き地・空き家、IC周辺整備等を活かし、地域の活性化を図ることが必要です。
- 身近な生活環境の利便性を高めるとともに、子ども達や高齢者などが楽しく安心して暮らせるまちづくりを進めることが必要です。
- 旧来の人情を育み、既存の地域活動・人材を架け橋とした交流が活発なあたたかいまちづくりを進めることが大切です。

■主な地域住民意向(まちづくり住民会議)

- ・JR身延線の運行強化と駅前広場整備
- ・バス利便性の向上
- ・周辺市町村へのアクセス改善、県道拡幅整備
- ・歩行者優先など人にやさしいみちづくり
- ・人口減少対策の推進
- ・地産地消と特産品づくり、地場産業の活性化
- ・観光振興など地域資源を活用した活性化の推進
- ・美しい環境・豊かな自然の保全と活用
- ・エコエネルギー、環境資源活用のまちづくり
- ・散策コース整備とマップづくり
- ・空き家・空き施設の活用、印章記念館の活用
- ・農地の保全と土地の有効利用
- ・住民参加によるIC周辺の土地利用構想の検討
- ・利便性の向上、街灯、スポーツ広場の整備
- ・歩いて楽しいみちづくり
- ・子育て支援、公民館活動、老人ホームの充実
- ・地域医療の充実、総合病院へのアクセス改善
- ・災害時の備え、防災への意識啓発の充実 など

■六郷地域の現況特性図



(2) 六郷地域の将来像

① 将来像とまちづくりの目標

■将来像と基本理念

将来像

**地域の特徴を守りながら、みんなで助け合う
子育て世代にやさしい人が住み続けられるまち**

基本理念

人情・出会い・人づくり

六郷地域は印章や舟運等の歴史文化や豊かな自然環境に恵まれた、穏やかな暮らしを営むまちです。また、古くからのつながりやコミュニティが生まれ、地域活動や人材が潜在資源となっています。これらの地域の特徴を守りながら、人情を育み、小さな出会いがまち全体の交流へ波及し、人づくりがまちづくりにつながる、若者や子育て世代が「住んでいたい・住んでみたい」と思える人にやさしい元気なまちづくりを進めます。

■まちづくりの目標

- 子育て環境の整ったまちづくり
- 若者が魅力を感じるまちづくり
- 子どもを増やすまちづくり
- 美しい環境を次代に残すまちづくり
- IC整備を活かした地域が元気になるまちづくり



・まちづくり住民会議

② まちづくりの基本方針

1) 地域資源を活用し地域のチカラで交流を創造する元気なまちづくりを進めます。

大きく本町の活性化に寄与する中部横断自動車道の延伸、(仮称)六郷ICの整備が予定されています。これを契機とした新たな活性化に寄与する拠点の検討、農業や印章等の地場産業の振興、里山・農村交流の促進、歴史文化・温泉・森林レクリエーション等の地域資源活用の観光振興を促進し、地域の魅力やチカラを十分に活かし、多くの人との交流を創造する元気なまちづくりを進めます。

2) 道路ネットワークの強化と安心・利便性の高い交通環境づくりを進めます。

中部横断自動車道((仮称)六郷IC)の建設促進とアクセス道路整備の検討、体系的な道路交通網、地域・集落間を連絡する交通ネットワークの強化を図るとともに、鉄道やバス利便性の向上、生活道路や安全な歩行者のみちづくりなどを推進し、地域活性化にも寄与する、誰もが使いやすい利便性の高い交通環境づくりを進めます。

3) 故郷の豊かな自然環境や歴史文化資源を守り・伝え・活かすまちづくりを進めます。

森林資源と川・沢に舞うホタル等の豊かな生息環境、きれいな空気と水の美しい環境、営みに培われた歴史文化資源や伝統行事。この穏やかな故郷の景観を守るため、住む人が地域の良さを再認識し、魅力を育むための地域のつながりを更に深め、誇りをもって子ども達に伝え活かすまちづくりを進めます。

4) 地域らしさを守る環境と共生した土地の有効活用を進めます。

農地や森林・水辺環境の保全を推進するとともに、耕作放棄地や空き家の有効活用、中山間地域の過疎対策を推進します。また、(仮称)六郷IC周辺については、地域の景観や環境に配慮した土地利用構想を検討するとともに、定住促進や地域に住み続けられる基盤を整え、豊かな環境を損なうことのないよう、環境と共生した土地の有効活用を進めます。

5) 子ども達も高齢者等も安心で利便性の高いやさしい住環境づくりを進めます。

子ども達からお年寄りまで、地域の交流・つながりが大きな財産です。身近な生活道路や歩いて楽しいみちづくり、広場・街灯の整備、美味しい水の供給、既存公共施設の有効活用など利便性の高い生活基盤整備をはじめ、助け合いや思いやりの地域のつながりから、誰もが安全・安心に暮らすことのできるやさしいまちづくりを進めます。

(3) 地域まちづくり方針

1) 地域資源を活用し地域のチカラで交流を創造する元気なまちづくりを進めます。

① 中部横断自動車道（仮称）六郷 IC 整備に伴う新たな地域活性化拠点の検討

- 地域活性化に寄与する（仮称）六郷 IC 周辺整備を契機とした新たな活性化拠点の検討（広域交通アクセスの向上、道の駅的な交通施設整備の検討、地域産業や観光農業と連携した活性化策の検討、多様な観光資源と連動する魅力づくり・仕掛けづくりなど）
- 住民の創意に基づく IC 周辺土地利用構想の検討、地域活性化に向けたまちづくりの検討

② 郷の拠点等の活性化

- 岩間地区・六郷庁舎周辺の地域生活拠点の魅力づくり
- 岩間地区周辺等の身近な商店街の活性化の推進（商店街一店逸品創出支援事業など）

③ 地域資源を活用した観光振興・活性化

- 観光レクリエーション拠点や観光資源の機能充実と魅力の向上（富士見ふれあいの森公園、地場産業会館（印章資料館）、六郷の里つむぎの湯など温泉の活用など）
- 水辺や豊かな自然資源の活用（富士川等の親水空間（富士川下りなど）、月見橋周辺の資源活用、舟運の復活、桜の里の保全と活用、里山ツアー・体験活動、森林レクリエーション活用など）
- 歴史文化資源を活用した活性化（史跡・文化財、富士川舟運の河岸・岩間陣屋跡等の活用など）
- 環境資源の活用検討（新エネルギー活用、太陽光・小水力発電など良好な環境活用のまちづくりなど）
- 観光基盤・観光ルートの整備と魅力づくり（中部横断自動車道（仮称）六郷 IC 整備に伴う交通アクセスの活用、主要地方道市川三郷身延線の広域的な観光ルート、山道ハイウェイの活用とPR、ふるさとの散歩道など）
- 行事・祭の継承とイベントの充実（地場産業まつり、花火、灯籠流しなど）
- 地域ぐるみの観光PRの推進（観光案内窓口の設置、ボランティアガイドの育成など）、「富士川（峡南）地域観光振興ビジョン」（平成19年3月）に基づく周辺地域と連携した観光振興

④ 地場産業の活性化

- 印章などの伝統産業の育成と活性化（伝統産業体験学習の推進など）
- 農業の振興（耕作放棄地の有効活用、農業基盤整備の促進、農山村地域との交流促進、農産物のブランド化・販売力の強化、農業と異業種の連携、後継者・担い手の育成、鳥獣害対策の推進など）
- 地産地消と地域の特産品づくり（炭焼き奨励、特産品づくりなど）
- 観光農業との連携（観光農園・体験農園、農産物直売所の充実、グリーンツーリズムの推進など）

2) 道路ネットワークの強化と安心・利便性の高い交通環境づくりを進めます。

① 周辺市町村・地域間をアクセスする骨格的な主要幹線道路網の強化

■中部横断自動車道および（仮称）六郷 IC の建設促進

- 良好な環境に配慮した早期建設の促進、（仮称）六郷 IC 周辺整備と併せたアクセス道路の整備推進

■骨格的な幹線道路網の整備・強化

- 主要地方道市川三郷身延線の交通渋滞緩和・交通環境改善に向けた六郷地域の新たなバイパス（構想）の整備促進
- （仮称）六郷 IC、国道52号等へのアクセス強化
- 地域間をネットワークする道路網の強化（主要地方道市川三郷身延線の交通環境改善、歩道整備など）

■主要生活道路の改善・整備

- 市街地や集落地域を結ぶ県道甲斐岩間（停）西島線など身近な生活道路の改善・整備

② 鉄道やバス等の公共交通の利便性の向上

- 落居駅、甲斐岩間駅の整備・充実（駅前広場整備、駅舎改善、トイレ、駐車場・駐輪場など）

- JR 身延線の継続と運行強化（運行本数の増加、鯨沢口駅以南の運行強化の要請、サイクルトレインの促進、パークアンドライド、身延線沿線市町村との連携による観光利用の促進など）
- バス交通利便性の向上（コミュニティバスの運行強化、施設間を連絡するバス路線の充実（六郷庁舎、市川大門庁舎（本庁舎）、町立病院、富士見ふれあいの森公園、周辺市町施設等へのアクセス改善）など）

③ 安全で快適な交通環境・歩行者に配慮したまちづくり

■安心・快適な歩行者優先のみちづくりの推進

- 岩間地区周辺既存商店街のコミュニティ道路化の検討
- 歩行者優先のみちづくり（バリアフリー対応、歩道整備、通過交通の進入を抑制した歩行者優先のみちなど）
- 歩いて楽しいみちづくり（ベンチ設置、植栽・植樹、ふるさとの散歩道づくり、富士川サイクリングロードなど）

■交通安全対策の強化

- 交通量が多く歩道が未整備な幹線道路や通勤・通学ルートの歩道整備、路側帯の確保の促進
- 主要地方道市川三郷身延線など交通事故の危険性の高い交差点の改善、通学路の交通安全対策、地域実情に即した交通規制の検討など

3) 故郷の豊かな自然環境や歴史文化資源を守り・伝え・活かすまちづくりを進めます。

① 美しい環境と豊かな自然の保全と活用

- 豊かな森林資源の保全と活用、維持管理の推進
- 富士川、山田川などの川や沢など良好な水辺環境の保全とレクリエーション活用
- 貴重な動植物の生息環境の維持（城山神社双幹の榎、ホタル、カタクリなど）
- 自然環境に配慮した環境負荷の軽減と循環型社会をめざす環境にやさしいまちづくりの推進

② 故郷の資源を守り活かす景観まちづくりの推進

- 歴史・文化的景観の保全と活用（富士川舟運・河岸などの歴史文化的景観の顕在化とまちづくりへの活用、城山神社双幹の榎等の代表的な文化財の保全、印章の伝統技術や印章資料館「十鐘山房印拵」の活用、浅間神社の神楽等の伝統芸能の継承、その他史跡・文化財など）
- 良好な眺望景観の活用とPR（ダイヤモンド富士が見られる日向山など優れた眺望場所の保全とアクセス道路の整備、眺望域の景観コントロールなど）
- 寺所の千本桜周辺など特徴的な里山景観の保全と活用、維持管理の推進など
- ふるさとの顔づくりの推進（地域生活拠点の魅力づくり、富士見ふれあいの森やつむぎの湯等の観光レクリエーション拠点、身近な景観スポットの創出、耕作放棄地の活用など）
- 多様な景観資源を結ぶネットワークの形成（ふるさとの散歩道、富士川サイクリングロード、ハイキングルートなど）
- 地域の特性にふさわしい適切な景観コントロールの推進
- 住民参加など協働による景観まちづくりの推進（散策マップづくりなど）

③ 美しい環境と共生した緑豊かなまちづくりの推進

- 身近な水と緑の保全と拠点づくり（公園・広場、雑木林、屋敷林、小川・沢などの資源活用など）
- 地域特性に応じた緑化の推進（植栽・植樹による公共施設や民有地の緑化、緑化推進地区の検討など）

4) 地域らしさを守る環境と共生した土地の有効活用を進めます。

① 農地や里山の保全と活用

- 富士川など河川扇状地に広がる水田や樹園地など優良農地の保全と農業基盤整備の促進
- 耕作放棄地の有効活用の促進（農地バンク、市民農園・観光農園、景観緑地への活用など）
- 中山間地域の森林資源や里山の保全と活用（森林の維持管理、林業振興、レクリエーション活用など）

② 住宅地・農業集落地の住環境改善と環境と共生した適切な土地利用の誘導

- 甲斐岩間駅周辺の有効的な土地利用の検討と計画的な土地利用転換の推進
- 岩間地区周辺既存商店街の魅力づくり、店舗・生活サービス機能の充実
- 六郷庁舎周辺の地域生活拠点の形成
- 扇状地に形成される住宅地や中山間地域の集落環境の維持・改善
- 中山間地域の過疎対策の推進（空き家の斡旋等移住促進、耕作放棄地の有効活用など）

③ 中部横断自動車道（仮称）六郷 IC 周辺土地利用構想の検討

- 交通至便性や良好な景観や環境などの地域特性を活かした新たな活性化拠点ゾーンとなる中部横断自動車道（仮称）六郷 IC 周辺の土地利用構想の検討
- 土地所有者や地域住民を主体とした住民組織など、地域の創意に基づく構想づくりの検討

④ 人口流出への対応と定住の促進

- 定住促進策の推進（空き家バンク制度など空き家の有効活用（若者の移住促進）、耕作放棄地の活用、新規就農者支援、子育て世代の定住促進、田舎暮らし、団塊世代の移住促進など）

5) 子ども達も高齢者等も安心して利便性の高いやさしい住環境づくりを進めます。**① 生活基盤の整備・充実と必要なものが身近にある利便性の高い住環境づくり**

- 身近な生活道路の改善・整備、交通安全対策の推進
- 市街地・集落地で不足する身近な公園・広場、スポーツ広場の整備・充実
- 生活利便施設の整備・充実と有効活用（公共公益施設、文化コミュニティ施設の充実、空き施設・跡地の有効活用、地域住民による施設の管理・運営の検討など）
- 公共下水道、合併処理浄化槽の普及促進、美味しい水の供給（安定的な生活用水の確保と管理体制の強化）
- 町営住宅落居団地、宮原団地の建替え検討、定住を促す良質な住まいづくりの推進（公営住宅の充実と有効活用、空き家対策促進など）
- 森林や河川へのごみ不法投棄の防止、資源ごみ回収等の改善・充実
- 情報通信基盤の整備促進

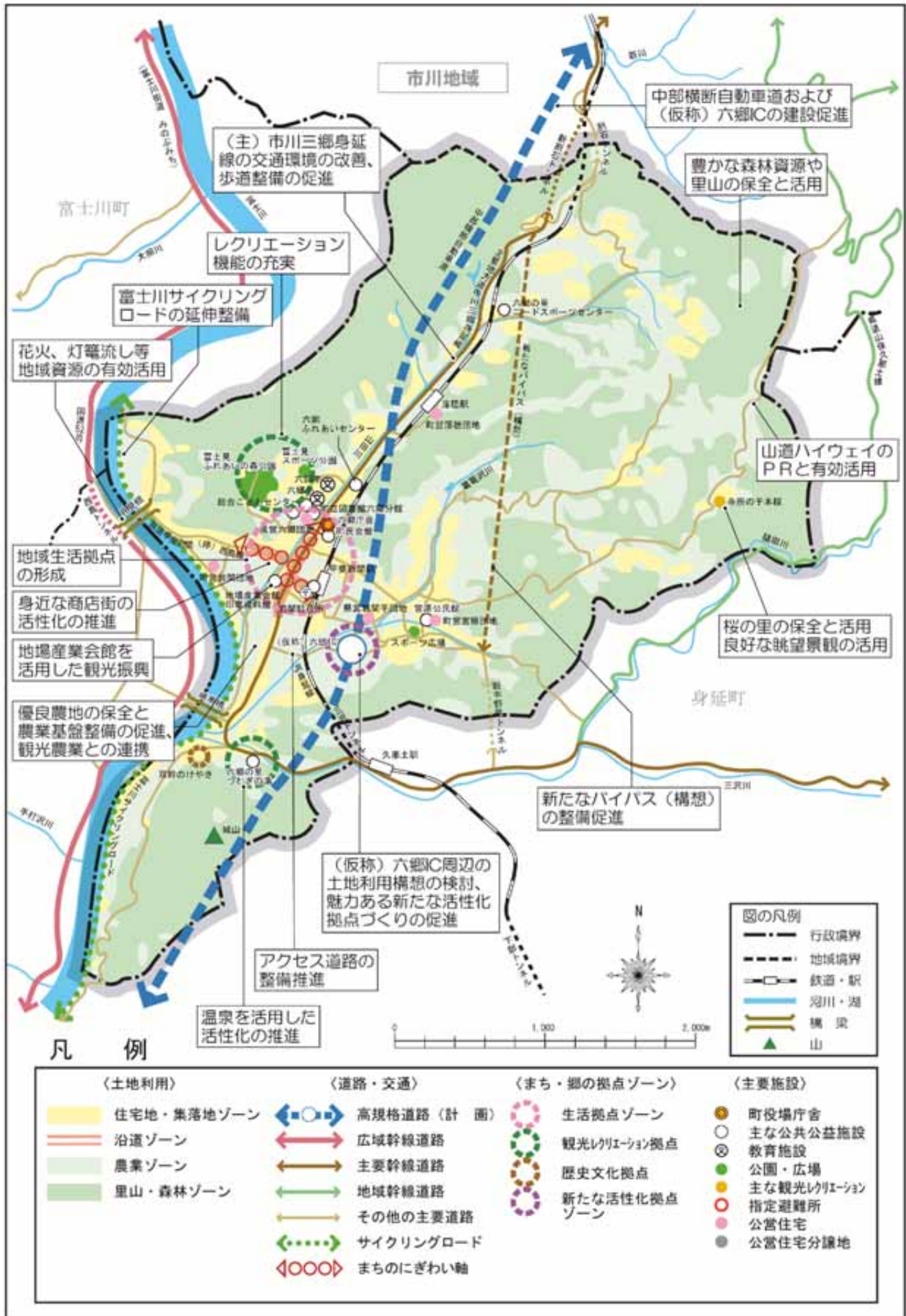
② 災害に強いまちづくりの推進

- 地域に多く分布する斜面崩壊の危険性が高い地滑り危険箇所の安全対策の促進
- 富士川や山田川、葛籠沢川等の治水対策、中山間地域の土石流危険箇所、急傾斜崩壊危険箇所などの土砂災害対策の促進
- 防災まちづくりの推進
 - ・木造密集地域や消防活動困難区域等の安全性の向上（行き止まり道路等の改善、老朽住宅の建替え、建物の耐震化・不燃化促進、避難ルート確保など）
 - ・防災拠点や防災施設の充実・強化（六郷庁舎の防災拠点の機能強化、避難場所の充実など）
 - ・中山間地域における災害時迂回路の検討など
- 積極的な情報公開と地域防災体制の強化、意識啓発活動の促進（地域単位の防災マップ作成と周知など）

③ 高齢者・子ども達が元気な思いやりのあるやさしいまちづくりの推進

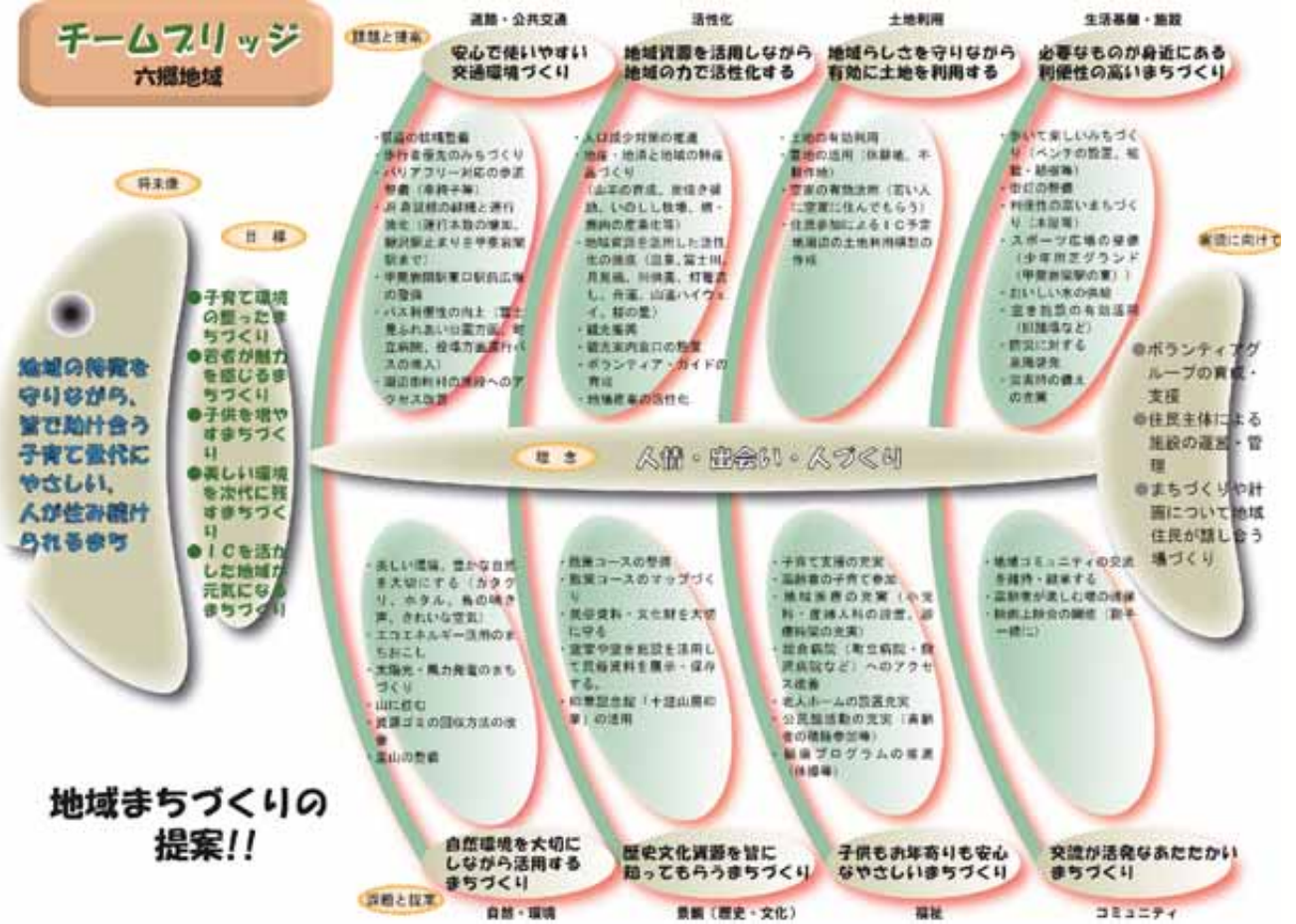
- 公共施設等のバリアフリー化の推進（鉄道駅、六郷庁舎や既存公共施設の改善、道路・歩行者空間、公園・広場、地場産業会館や図書館、つむぎの湯など文化交流施設等のバリアフリー化）
- 安心して暮らせる福祉と健康のまちづくりの推進
 - ・六郷ふれあいセンターなど福祉施設の機能充実、健康プログラムの充実
 - ・健康や福祉増進に向けた六郷の里ニードスポーツセンターの有効活用
 - ・地域医療の充実（町立病院の医療環境の充実と地域医療の連携強化（小児科・産婦人科や診療時間の充実、鰍沢病院との連携など広域医療体制の強化）
 - ・高齢者・障害者等に配慮したまちづくり、子育て環境・子育て支援の充実（高齢者の子育て参加など）
- 地域防犯体制の推進（街灯・防犯灯の整備など）
- 交流が活発なあたたかいまちづくり（地域コミュニティ・交流の維持・継続、公民館活動の充実、ボランティアの育成・支援、地域が楽しむ場づくり（高齢者の楽しむ場、親子映画上映会開催など）

■地域まちづくり方針図－六郷地域



〈参考〉地域まちづくりプランの提案（まちづくり住民会議提案より）

■まちづくりフィッシュボーン



地域まちづくりの提案!!

■地域別情報・提案マップ





・とうもろこし畑と八ヶ岳遠望